

## 大分舞鶴高校の「SSH 重点枠」採択の決定について

R3. 4. 9  
高校教育課

## 1. 概要

令和3年度から新たに4年間、文部科学省指定のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）重点枠に、大分舞鶴高校が採択を受けた。

## 2. 指定の内容

- ・当該校は、令和2年度から5年間の基礎枠に指定されている。
- ・重点枠は、県内外のSSH校と連携して、地球規模の社会共創について取り組む。
- ・基礎枠の経費支援750万円／年に加え、重点枠は1,000万円／年。
- ・重点枠には、全国9校の応募から新規1校、継続3校が採択（令和2年度以前と合わせ、令和3年度の重点枠は14校が指定）

## 3. 大分舞鶴高校の重点枠のテーマ等

## 【テーマ】

「宇宙」に関わる社会との共創により、Society5.0の社会を牽引し世界や地域で活躍するイノベーション創出人材の育成

## 【取組】

- 九州スペースサイエンスコンソーシアム
  - ・致遠館、長崎西、熊本第二、日田、佐伯鶴城と連携した合同研究
  - ・宇宙等に関するオンライン講座、県外研修、合同の課題研究、成果発表会等を実施
- 生徒を世界と社会につなげるプラットフォーム
  - ・NASA、JAXA、国立天文台等の最先端研究施設での研修
  - ・東京大学、九州大学、九州工業大学、大分大学等との共同研究
  - ・商工観光労働部と連携したアントレプレナーシップの育成

## 【協力者等】（R2年度）

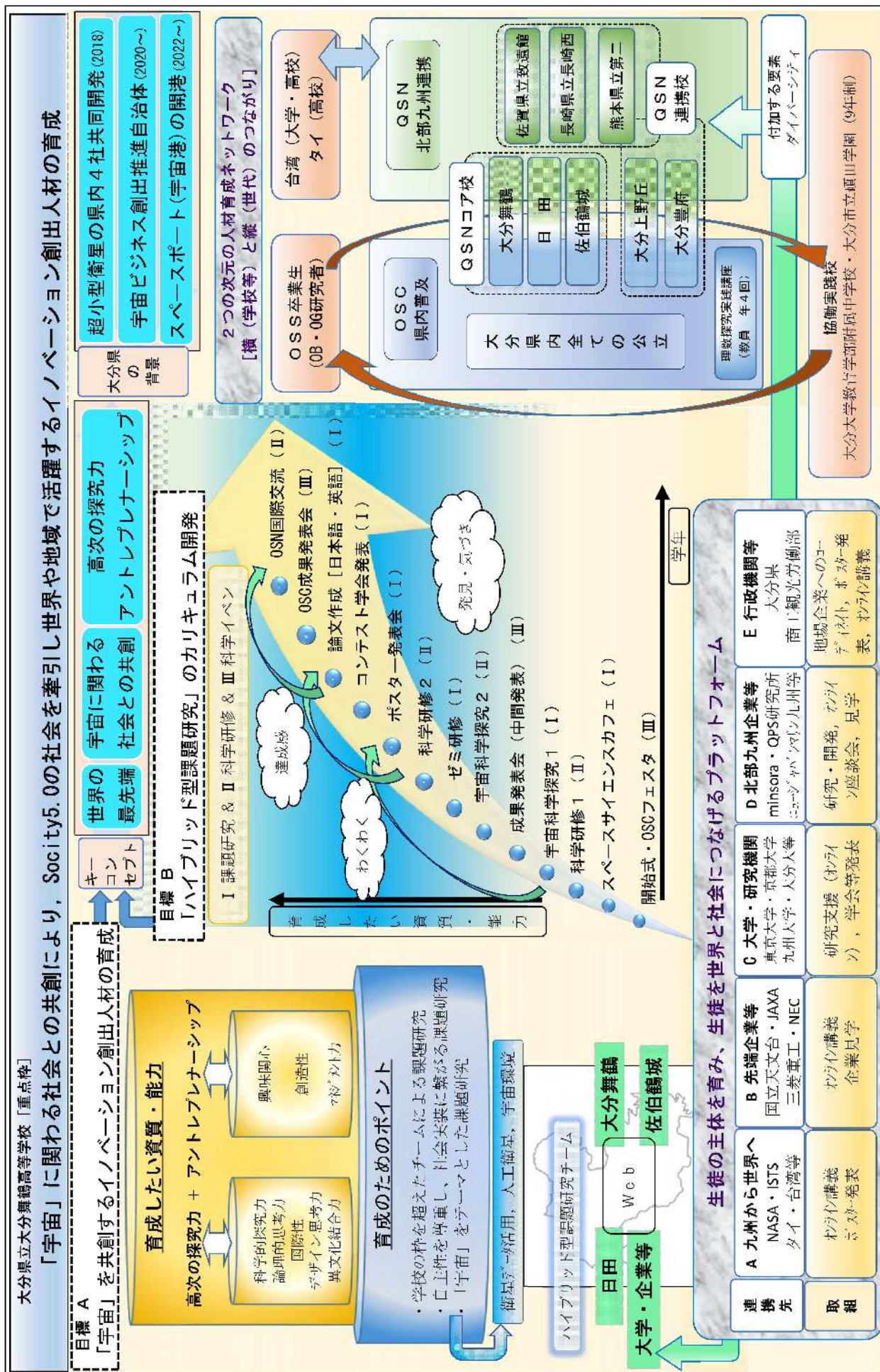
東洋大学 食環境科学部	教授	後藤 顕一
大分大学 教育学部	教授	三次 徳二
日本文理大学 工学部	学部長	室園 昌彦
崇城大学 工学部	教授	八田 泰三
おおいたスペースフューチャーセンター	代表	高山 久信

## 4. 本県のSSH指定の状況

- ・大分舞鶴（平成17年度～、第4期2年目）
- ・日田（平成23年度～、第3期1年目）
- ・佐伯鶴城（平成29年度～、第1期5年目）

## 5. 他県のSSH重点枠指定の状況（全14校）

- ・札幌日大（北海道）、米沢興譲館（山形）、私立千葉（千葉）、時習館（愛知）、膳所（滋賀）、嵯峨野、立命館立命（京都）、奈良（奈良）、大阪天王寺（大阪）、尼崎小田、神戸（兵庫）、観音寺第一（香川）、大分舞鶴（大分）、宮崎北（宮崎）



#### 連携先

連携先	取組
A 九州から世界へ NASA・ISTS タイ・台湾等	オンライン講義 ミスター発表
B 先端企業等 国立天文台・JAXA 三菱重工・NEC	オンライン講義 企業見学
C 大学・研究機関 東京大学・京都大学 九州大学・大分大等	研究支援 (オンライン) 学会等発表
D 北部九州企業等 minsora・QPS研究所 ニッポンパルマ/九州等	研究・開発、オンライン 座談会、見学
E 行政機関等 大分県 商工観光労働部	地場企業へのコーディネート イベント、ミスター発表、オンライン講義

#### 大学・企業等

日田 大分舞鶴 佐伯鶴城

Wc b

#### 生徒の主体を育み、生徒を世界と社会につなげるプラットフォーム

開始式・OSCフェスタ (III)

スペースサイエンスカフェ (I)

科学研修1 (II)

宇宙科学探究1 (I)

成果発表会 (中間発表) (III)

宇宙科学探究2 (II)

ゼミ研修 (I)

科学研修2 (II)

ポスター発表会 (I)

コンテスト学会発表 (I)

論文作成 [日本語・英語] (I)

OSC成果発表会 (III)

OSN国際交流 (II)

#### 協働実践校

大分大学教育学部附属中学校・大分市立真山学園 (9年制)

協働実践校

理数探究実践講座 (教員 年4回)

QSNコア校

大分舞鶴 日田 佐伯鶴城

大分上野丘 大分豊府

QSN連携校

佐賀県立致遠館 長崎県立長崎西 熊本県立第二

付加する要素  
ダイバーシティ

育成したい資質・能力

高次の探究力 + アントレプレナーシップ

科学的探究力  
論理的思考力  
国際性  
デザイン思考力  
異文化結合力

興味関心  
創造性  
マインド力

育成のためのポイント

- ・学校の枠を超えたチームによる課題研究
- ・自主性を尊重し、社会実装に繋がる課題研究
- ・「宇宙」をテーマとした課題研究

目標 A

「宇宙」を共創するイノベーション創出人材の育成

目標 B

「ハイブリッド型課題研究」のカリキュラム開発

大分県の背景

- 超小型衛星の県内4社共同開発 (2018)
- 宇宙ビジネス創出推進自治体 (2020～)
- スペースポート (宇宙港) の開港 (2022～)

2つの次元の人材育成ネットワーク

[横 (学校等) と縦 (世代) のつながり]

連携先

連携先	取組
A 九州から世界へ NASA・ISTS タイ・台湾等	オンライン講義 ミスター発表
B 先端企業等 国立天文台・JAXA 三菱重工・NEC	オンライン講義 企業見学
C 大学・研究機関 東京大学・京都大学 九州大学・大分大等	研究支援 (オンライン) 学会等発表
D 北部九州企業等 minsora・QPS研究所 ニッポンパルマ/九州等	研究・開発、オンライン 座談会、見学
E 行政機関等 大分県 商工観光労働部	地場企業へのコーディネート イベント、ミスター発表、オンライン講義

大学・企業等

日田 大分舞鶴 佐伯鶴城

Wc b

協働実践校

大分大学教育学部附属中学校・大分市立真山学園 (9年制)

協働実践校

理数探究実践講座 (教員 年4回)

QSNコア校

大分舞鶴 日田 佐伯鶴城

大分上野丘 大分豊府

QSN連携校

佐賀県立致遠館 長崎県立長崎西 熊本県立第二

付加する要素  
ダイバーシティ

## 日田高校の「SSH 基礎枠」採択の決定について

R3. 4. 9  
高校教育課

## 1. 概要

令和3年度からの、文部科学省指定のスーパーサイエンスハイスクールに、日田高校が3期目の採択を受けた。

## 2. 指定の内容

- ・令和3年度から5年間指定、経費支援は750万円/年
- ・全国43校の応募から、新規4校、2期目以降の継続17校が採択（令和2年度以前の指定校と合わせ、令和3年度は228校が指定）

## 3. 日田高校の3期目のテーマ等

## 【テーマ】

「日田高ステアリングプロジェクト」の実践を通じた未来開拓型  
科学技術人材の育成  
～「日田高RGB」を備えた未来開拓型科学技術人材を目指して～  
(R=Research=探究力、Glocal=波及力、Basis=基礎力)

## 【取組】

- 探究的な学校独自の科目
  - ・社会科学及び自然科学から水にアプローチする「Water Science」
  - ・豪雨被害等に関する防災等の地域課題を解決する「水郷ひた学」
  - ・プログラミング等により論理的思考力や表現力を育成する「SSP」
- 授業改善
  - ・探究活動の基盤となる資質・能力を各教科の授業で育成
  - ・逆向き設計、課題解決、社会実装の「深い学び3項目」の実践
- 外部連携と裾野拡大
  - ・地元企業や官公庁と連携した、社会課題の把握と解決策の実践
  - ・小中高の学び接続を意識した授業連携と小中生への科学普及活動

## 【主な協力者等】（R2年度）

東洋大学 食環境科学部 教授	後藤 顕一
別府大学 文学部 国際言語文化学科 教授	山野 敬士
日田市立光岡小学校 校長	石原 康広
大分大学 教育学部 教授	大上 和敏
九州大学大学院 工学研究院 准教授	清野 聡子

## 4. 本県のSSH指定の状況

- ・大分舞鶴（平成17年度～、第4期2年目）
- ・日田（平成23年度～、第3期1年目）
- ・佐伯鶴城（平成29年度～、第1期5年目）

## 5. 九州各県のSSH指定の状況（令和3年度）

福岡（4校）	佐賀（1校）	長崎（3校）
熊本（5校）	大分（3校）	宮崎（3校）
鹿児島（5校）	沖縄（2校）	

※指定終了までの経過措置校を除く。  
※全国の指定校は計228校



研究開発課題名

「日田高ステアリングプロジェクト」の実践を通じた未来開拓型科学技術人材の育成

日田高校SSH指定2期10年間の成果 (□は生徒の姿 ○は教員の姿)

- 授業改善を土台とした, 思考力・判断力・表現力・協働性の向上
- 課題研究の質の向上 (SSH生徒研究発表会3年連続ポスター賞 ※参加200校中20校が受賞)
- 教科融合のカリキュラム開発 (水に関する探究を行うWater Scienceは各方面から好評価を頂く)
- 地域と協働した取組や小中高連携による「地域循環型教育」の醸成
- 課題 ●育成を目指す生徒像の明確化      ■探究の過程を自ら遂行する力の育成
- 発信・提案・実践する力の育成      ■新たな情報と既有知識を結び付ける力の育成

日田地域の現状

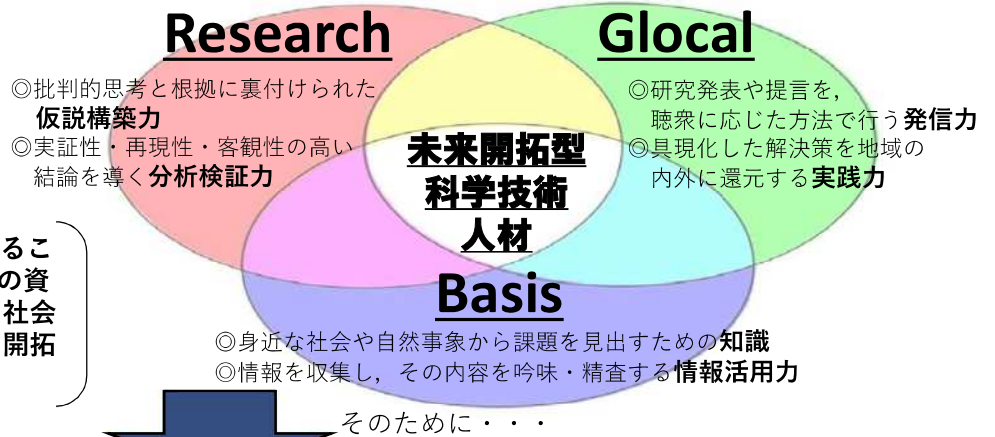
- ①「水郷日田」と呼ばれる豊かな水資源を保有
- ②10年間で4度の豪雨被害を経験
- ③日田市人口は10年間で9.4%減少

度重なる豪雨被害を受けても、地域とともに生徒は立ち上がり学びを続けてきました。今後の予測困難な事態にも粘り強く立ち向かい、科学技術の力をもって**地域と世界の未来を切り拓く人材**の育成を目指します。

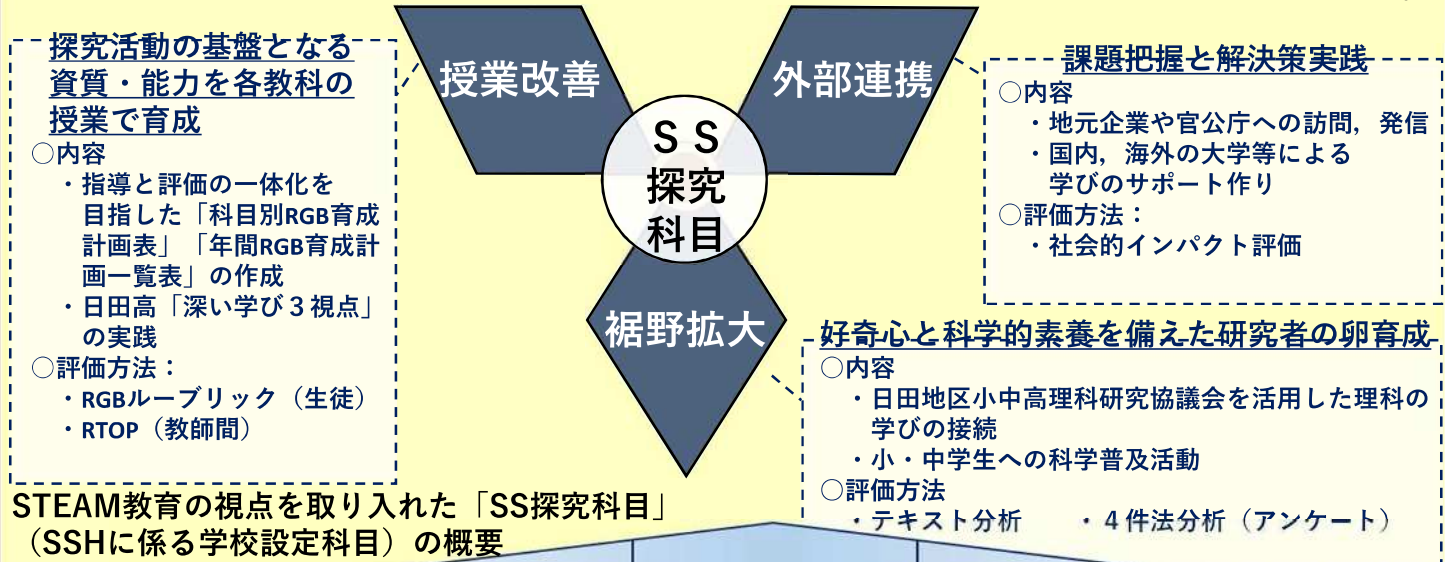
育成を目指す生徒像

「日田高RGB」を備えた未来開拓型科学技術人材

「光の3原色(RGB)」で全ての色を作ることができるように、「日田高RGB」の資質・能力を備えることで、あらゆる社会課題に適応し、地域や世界の未来を開拓できる人材を育成します。



日田高ステアリングプロジェクト【SS探究科目が校内の舵取り役を担い、人材育成へ導く取組】を実施します。



STEAM教育の視点を取り入れた「SS探究科目」(SSHに係る学校設定科目)の概要

科目名	SS Presentation 1年全員 2単位	SS Communication 2年SSクラス 1単位	探究 I・II 2年SSクラス 3単位 3年SSクラス 1単位	水郷ひた学 I・II 2年文・理系 1単位 3年文・理系 1単位	Water Science 1年全員 2単位
概要	主テーマ: 表現 上半期はICT利用の基礎とプログラミング学習, 下半期は図表等を用いた論理的思考・表現活動。	主テーマ: アイディア 科学的なトピックについて, 英語を用いた論理的思考・発信活動を実施。SDGsに関する諸問題も扱う。	主テーマ: 科学的探究 科学的テーマを扱った専門性の高い課題研究。SS探究科目の中核として, 指導体制や評価を他科目に先駆けて実施。	主テーマ: 地域貢献 地域課題に自然科学と社会科学の両面からアプローチする課題研究。地域への還元まで実施。	主テーマ: 理解 上半期は社会科学的, 下半期は自然科学的側面から『水』にアプローチする学習・探究。
主に育成を目指す資質・能力	Basis	Glocal	Research	Glocal	Basis